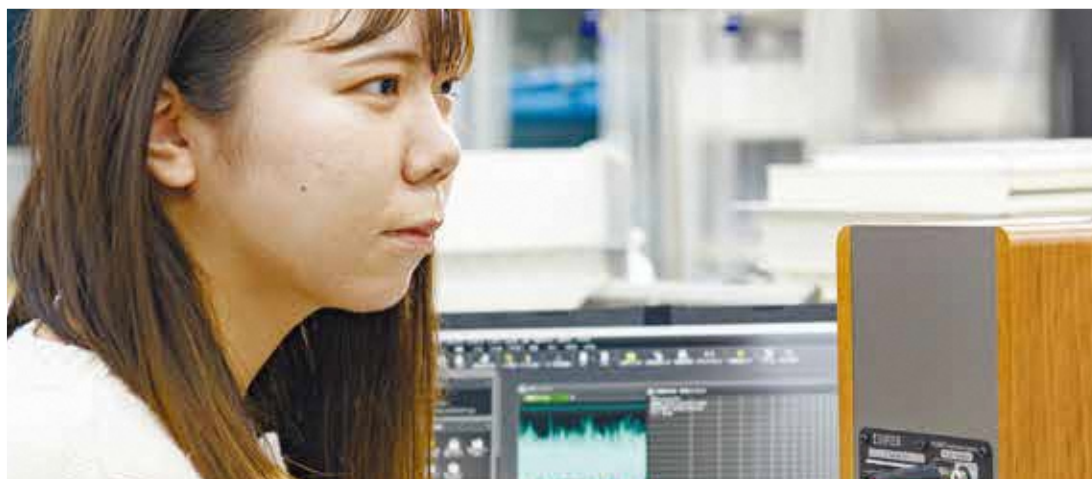
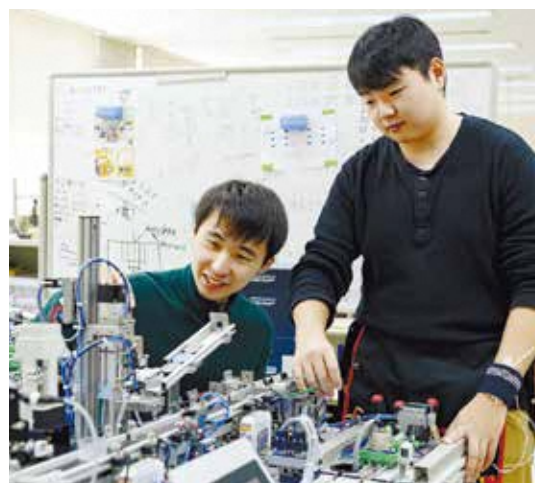




初代・清水校長の思いを継ぐ第4代校長は、山形大学工学部名誉教授の尾形健明氏。学生たちには常に「世界で初めてのことに取り組もう」と伝えている。そこには40年にわたり電子スピン共鳴（ESR）の研究に取り組み、世界初の測定装置開発にも携わった自身の経験がある。なお、その開発のきっかけとなったのは、東京大学、山形大学工学部教授を経て山形県テクノポリス財団初代理事長に就いた鎌田仁氏の一言であったという。

山形テクノポリス構想を機に1993年に開校した産技短は、現在6科と専攻科、庄内校を備え、変化する技術に対応した2年間の実践的教育を行っている。県内企業450社が振興会員として支え、就職率はほぼ100%を維持。卒業生は約3500人に及び、県内の企業や団体などで活躍。学校の存在感を高めている。

山形県立産業技術短期大学校
山形市松栄2丁目2-1 TEL023-643-8431



ここで、 つくりだすんだ

ここは山形県立産業技術短期大学校。

全国で初めて、県立の職業能力開発短大校として30年前に誕生した。

産業発展のために、人材育成こそ肝要とする思想があった。

「技術者、科学者である前に人間であれ」

初代校長・清水二郎氏は説いた。

学生たちは、県内企業の強力なバックアップも受けながら、

仲間と、先生と、研究に没頭できる環境で、

ものづくりが一人だけではできないことを学ぶ。

自らの責任と、果たすべき役割を知る。

まだこの世にないもの、暮らしを豊かにするもの、人の役に立つもの。

卒業を前に、彼らがつくろうとしているのは、そういうものだ。

「つくりだすんだ」という、ここで生まれたひたむきな欲求が、
山形を、そして明日の世界をつくる。

そんな頼もしい若者たちが、ここにいる。

都道府県民共済グループ

山形県民共済

〒990-0043 山形市本町2-4-3 本町ビル TEL023-628-8301代

●この共済は生協法に基づき厚生労働省の認可を受けた事業で、ご加入者の暮らしの安心を守ることを使命としています。
共済取扱団体／山形県認可 山形県民共済生活協同組合 共済元受団体／厚生労働省認可 全国生活協同組合連合会

ホームページは
こちらから

